

北海道PCB廃棄物処理事業 監視円卓会議だより

平成21年5月
第14号

日本環境安全事業(株)(JESCO)が昨年5月から操業を開始した、北海道PCB廃棄物処理事業が、安全、確実かつ適正に行われることを目的として、北海道と室蘭市では、処理施設の整備や操業、処理事業における情報公開の監視などを行う『北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議』を設置しています。

今回は、3月26日に開催された第14回監視円卓会議の内容を中心に、施設の稼働状況や事業の経過などについて、お知らせします。

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議(第14回)について

平成21年3月26日(木)午後2時より、PCB処理情報センター(室蘭市御崎町1-9)において、第14回監視円卓会議を開催しました。

会議には、学識経験者1名、公募委員5名の委員6名のほか、オブザーバーとして、環境省、登別市、JESCOなど関係者が出席し、事業の進捗状況等について報告を行い、それらに関する意見交換が行われました。

【会議の概要】

議 事

- 1 第13回監視円卓会議議事録について
平成20年12月18日に開催した第13回監視円卓会議の議事録が承認されました。
- 2 北海道事業の進捗状況等について(JESCO)
施設の稼働状況、2月に発生したトラブル事象、平成20年度の安全衛生環境活動実績について説明がありました。
- 3 その他
事務局から、平成20年度の環境モニタリングの結果及び「平成21年度北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理実施計画」、JESCOに対する立入検査実施状況について説明を行いました。
また、監視委員の任期満了に伴い、出席された各委員より一言ずつご意見をいただきました。

【円卓会議の様子】



主な報告事項等の内容

処理施設の稼働状況について(2月末現在)

PCB廃棄物の受入・処理状況

	トランス類(台)		コンデンサ類(台)		PCB油類(本) ¹		合 計	
	道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外
受入状況	91	54	1,036	957	23	-	1,150	1,011
処理状況 ²	135(481)		1,766(5,656)		23(0)		1,924(6,140)	

1 PCB油類はドラム缶の本数

2 処理状況は抜油ベース(カッコ内は平成20年度の計画数値)

PCBの液処理量 48,306kg

払出物の状況

【有価物】

払出物	払出量(kg)	利用方法
銅	7,158	再生利用
アルミニウム	2,682	"
碍子	6,519	"
複雑金属	11,003	"
鉄	59,055	"
処理済油	251,479	燃料利用

【廃棄物】(焼却処理)

払出物	払出量(kg)
素子	27,412
紙・木・プレスボード	4,907
廃TCB	15,437
廃アルカリ	552,799

トラブル事象等について

前回の円卓会議以降、2月28日までに2件のトラブル事象が発生しました。その概要は次のとおりですが、いずれも通院加療を必要とする作業員のケガであり、区分の事象です。なお、環境への影響はありませんでした。

区分：環境への特段の影響はないが、第三者に不安感を与える事象。随時、道及び市へ報告、その後PCB処理情報センターにて資料を供覧。

コンデンサ手解体作業における右掌の挫裂創(発生：平成21年2月10日(火)14:00ごろ)

発生場所	コンデンサ手解体エリア 作業スペース
概要	小型コンデンサ解体作業時、缶体を移動しようとした作業員の右手が滑り、缶体切断時に生成した突起部に当たり、罹災
原因	缶体切断時に突起部が生成、作業手順の不徹底
対策	移動時に突起物等危険な箇所を取り除いて行うことを標準化。また、缶体切断時に突起部が生成しないよう、切断方法を統一し、作業要領書に明記。

コンデンサ蓋解体作業における右手甲部の挫裂創(発生：平成21年2月25日(水)16:20ごろ)

発生場所	コンデンサ蓋解体エリア 作業スペース
概要	コンデンサ蓋に接続されている碍子の解体作業時、落下した工具の部品を拾おうとした作業員が耐熱手袋を外そうとした際、右手を滑らせ解体中の碍子の鋭利な箇所に接触し、罹災
原因	安全配慮の不足
対策	解体作業時に耐熱手袋を常時着用することとし、外す際は安全性を確保するよう作業要領書を改正。経験の浅い作業員は、非管理区域で訓練を行った上で、管理区域内作業に配属することとした。

安全衛生環境活動について

JESCOでは、労災の防止や緊急時対応などを目的に、安全衛生環境活動について年間の計画を作成し、教育・訓練をはじめとして、様々な行事を実施しています。平成21年度は、新たにISO14001の取得に向け、体制整備や教育を行うこととしています。

【平成21年度に予定している主な活動】

・安全衛生教育(年7回)

JESCO及び処理施設の運転管理を行う室蘭環境プラントサービス(株)(MEPS)の職員に対し、緊急時対応や労働衛生、環境安全などについての教育を行います。

・防災訓練(年8回)

室蘭市消防本部と合同で行う地震・火災の発生を想定した総合防災訓練のほか、PCB処理情報センターにおける火災発生や緊急時の夜間召集訓練など、様々な状況を想定した訓練を実施します。

・ISO14001の取得準備

事業所においてISO14001を取得するため、「ISO14001認証取得キックオフ」と称し、環境委員会の設置など体制を整備するほか、職員に対する教育を実施します。

委員からの主な質問と回答

トラブル事象について

(質問) 委員

先行事業所で似たようなトラブルはなかったのか。水平展開されていないからではないか。

(回答) J E S C O

各事業所でおきるトラブルは、事故原因・対策を示し、水平展開を図っているが、完全にはできていない部分もあるかもしれない。

(質問) 委員

2月10日事故の突起部が生成しない切断方法とは。2月25日の事故原因とされているすべりやすい作業用手袋はなぜ使用するのか。

(回答) J E S C O

2月10日については、小型コンデンサのフランジ(厚い部分)から切断したため、突起部ができてしまった。対策としては、薄い部分から切断すること。また、突起部ができた場合は、破砕除去をするよう作業手順書に記載した。

作業用手袋は作業員をPCBから守るために使用。作業の際は、作業用手袋の外側にはく耐熱手袋を脱がないことを徹底する。

(質問) 委員

入社2ヶ月の社員がケガをしたとのことだが、訓練や教育はどうなっているのか。

(回答) J E S C O

研修等については、これまでも実施しているところ。職員に対する教育について、現在運転会社(MEPS)でプログラムを作成中。

(質問) 委員

2月25日事故のエアーチゼル先端の落下対策は。また、手袋を外すことについて、その対策は。

(回答) J E S C O

エアーチゼルは使用頻度が高くなったことにより、バネが弱くなったため、落ちやすくなっていた。常に確認・点検し、時間経過に応じて交換することとした。

手袋を外すときの安全確認については、常識の範囲内のため、手順書に明記していなかったが、事故が発生したことから改めて、明記した。

増設事業について

(質問) 委員

早く処理をするのが大切だと言いながら、増設事業を凍結するのは矛盾するのでは。

(回答) J E S C O

地元の理解・協力がなければ、事業の推進はできない。現在の形では納得できないと言われれば、受入れざるを得ない。現在、国と協議中のため、設計業務を凍結している。

(意見) 委員

設計は進んでいるのか。今後はどうするのか。

(回答) J E S C O

平成20年3月に契約した後、設計協議等は進めていたが、土地の借用の問題などがあり、1月で作業を止めている。国・市との協議次第で今後も作業を再開する可能性もあるが、状況によっては、施設の規模等を見直すこともありうる。

(質問) 委員

契約しているのに動かなければ、違約金などが発生するのは。

(回答) J E S C O

契約に基づく措置として、双方の合意によって決めることができるようになっており、現在は双方の合意のもとで凍結している。

その他

前回までの円卓会議で委員から質問があった事項で、回答していなかったものについて、J E S C Oから説明があった。

払出物の状況について

Q 8月の払出物のうち、廃アルカリと廃TCBがゼロとなっているが。

A 払出前のタンクに保管されていたもので、9月に払出を行った。

Q 廃アルカリの処理の委託を複数の企業ではなく、一社のみとなっているが、問題ないのか。

A 相手方の処理能力(98t/日)に対し、排出量は1/5程度(17t/日)であること、また、定期点検の時期がお互いに10月に重なっていることから支障はない。

J R貨物駅からの搬入時間について

Q J R貨物駅からの搬入時間が通勤時間と重なっており、リスクが高いのでは。

A 駅には7時22分に到着。トラックに積替えて搬送している。8時すぎの通勤ピーク時は避けており、7時55分にはJ E S C Oに到着している。

(質問) 委員長

駐車場にトラックが止まっているのが見えるが、これはPCB廃棄物を運搬しているのか。

(回答) J E S C O

対向車両による事故を避けるため、PCB廃棄物搬入時に一度、トラックを処理情報センター前で待機させ、処理施設から出る車をストップし、安全を確認した上で、搬入するようにしている。

北海道事業の進捗状況について（最新の話など）

北海道PCB廃棄物処理事業の経過（平成20年12月18日以降）

2月16日 北海道PCB廃棄物処理事業に係る広域協議会（第15回）

北海道、15県及び室蘭市が出席し、「平成21年度北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理実施計画」（案）などについて、協議を行いました。

2月23日～3月16日 円卓会議委員の公募

円卓会議では、学識経験者及び各種団体のほか、広く道民の皆様の参加をいただくこととしています。現在の委員の任期が3月31日に終了することから、新たな委員の公募を行いました。道内7名の方から応募があり、選考委員会による審査の結果、5名の方が選考されました。次回の円卓日よりで新しい円卓会議委員の方々を紹介します。

北海道PCB廃棄物処理事業報告会（3月26日 室蘭市民会館）

北海道PCB廃棄物処理事業について、市民の方々に理解を深めていただくため、室蘭市民会館において、処理実績などについての報告会を開催しました。報告会では、以下の内容について説明後、質疑応答を行いました。

【内容】

国内のPCB廃棄物の処理状況について

（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課 高橋課長補佐）

北海道PCB廃棄物処理事業について

（日本環境安全事業㈱ 斉藤事業部長、油井北海道事業所長）

北海道PCB廃棄物処理事業 環境モニタリング 概要と結果について

（北海道環境科学センター環境保全部化学物質第二科 姉崎研究職員）



【主な質疑】

Q PCBの一番の問題は生物濃縮であるが、データはとらないのか。

A 生物モニタリングについては、基準値等が定められていないこと、個体差が大きいことなど、測定結果の評価が難しいことから、測定項目としていない。

Q 収集運搬事業者に対する指導管理はどうしているのか。

A 安全管理体制や教育訓練などの基準をクリアした事業者に対し、入門を許可している。また、年2回収集運搬事業者との連絡会議を開催し、搬入時の問題点などについて情報交換を行っている。

Q 処理実績が当初計画から遅れているが、期限までの処理は可能か。

A 施設は、年間の運転日数を285日として設計されている。遅れを取り戻すため、処理日数や1日の処理時間を増やすなどの対応が考えられるが、当面は安全性を十分確保しながら処理量を上げていくこととしている。

Q JESCOのHPの更新が少ない。情報開示をもっと積極的に行うべき。

A 平成20年度については、事業所だよりの発行も少なかったため、今後回数を増やしていきたい。

また、処理情報センターを設置しており、いろいろな情報を早く具体的に出している。職員の説明も対応しているし、出向いての説明も行っているため、積極的に活用していただきたい。

PCB廃棄物処理事業に関するお問合せ

日本環境安全事業株式会社 北海道事業所

〒050-0087 室蘭市仲町14番地7

TEL : 0143-22-3111 FAX : 0143-22-3001

<http://www.jesconet.co.jp/>



PCB廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問合せ

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL : 011-231-4111(内24-312)、011-204-5196(ダイヤル) FAX : 011-232-4970

E-mail : kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/index.htm>

室蘭市生活環境部リサイクル清掃課 4月1日から所管課が変わりました

〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目75番7号

TEL : 0143-22-2861 FAX : 0143-22-7148 E-mail : haikibutsu@city.muroran.lg.jp

<http://www.city.muroran.lg.jp/main/index.php>

試される大地
北海道



「円卓会議だより」や円卓会議の会議資料は、北海道のホームページでご覧いただけます。

また、この「円卓会議だより」は、室蘭市の各サービスセンターでも配布しています。